

事務事業調書

平成27年度

事業No	621	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	香村正志
事務事業名					事業種別	施設管理	
浄・配水場施設を活用した発電事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)					
	3 水循環		予算科目(款・項・目)					
	1 上水給水		総合計画以外の計画		環境基本計画			
	3 健全経営		関連する総合計画の施策					
	1 健全経営		性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	平成46年度	期間	30年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道事業者が浄・配水場施設を有効活用して発電・売電して		~になる	水道事業の経営環境の改善と自然環境への負荷軽減を図る。			
事務事業の内容	浄・配水場施設の有効利用し、県水の水頭圧を利用した水力発電(中部配水場)や配水池上部の空間を利用した太陽光発電(北部浄水場)に取り組み、水道事業の経営環境を改善するとともに、大量の電気を消費する施設から施設内で発電することで自然環境への負荷の軽減を図ります。							
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度には水力発電装置の制御設備に修繕が発生しました。 平成23年度には水力発電機に修繕が発生しました。 平成26年度発電量の増加を目的として、北部浄水場配水池屋上部を有効活用して太陽光発電設備を設置し、平成27年度から発電及び売電を開始します。 							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	218	0	158,490	142,052	1,170
財源計	92	0	156,600	140,162	540
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	92	0	0	0
	一般財源	0	0	156,600	140,162
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	126 (0.02)	0 (0.00)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	630 (0.10)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水力発電設備整備	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	整備事業(一式)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	太陽光発電設備設置及び整備	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	整備事業(一式)	活動の総事業費(千円)	0	0	142,052	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	142,052.00	
活動3	活動名 (活動内容)	水力発電及び太陽光発電設備の維持管理	見込	0.00	0.00	0.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	維持管理事業(1式)	活動の総事業費(千円)	218	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	218.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	太陽光発電(売電電気量)(万kwh)		目標	0.00	0.00	0.00	36.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2	水力発電量(自己消費電力量+売電電力量)(千KWh)		目標	135.00	246.00	280.00	296.00
			実績	246.00	280.00	296.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 水力発電機が一年を通じて安定的に運転させることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> 水力発電機の故障が発生しなかったため、活動コストを抑えることができました。 平成26年度には太陽光発電設備を設置したため、活動コストは増加しました。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 成果1について、平成26年度に設置された太陽光発電設備が平成27年度には本格稼働し、発電量及び売電料の増加が見込めます。 成果2については、平成26年度内に故障が発生しなかったことに加え、県水の受水ラインの見直しを図り、より効率的な発電機の稼働を確保することができたため、発電量を増加させることができました。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> 水力発電機及び太陽光発電設備について、日常点検を確実に実施し不具合箇所の早期発見に努めます。また、管理運営方法を工夫し、より多くの発電ができるよう取り組みます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 水力発電機と太陽光発電設備の安定的な稼働について、日々の点検を通じた不具合箇所の早期発見に努めます。また、施設で使用する電力量の削減に努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	622	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	香村正志
事務事業名	原水及び県水受水事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)		
	3 水循環			予算科目(款・項・目)		
	1 上水給水			総合計画以外の計画		第5次拡張事業
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策		
	1 水資源の確保			性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和31年度	経過	59年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)が			~になる	安定した水道水の供給を受ける
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の安定供給を目的として、自己水源(井戸水)からの取水量と県水受水量を定めた取水計画を策定し、計画に従って水道水の原水管理を行います。 ・自己水源(井戸水)は経年劣化するので、劣化状況を把握し、計画的にしゅん滯などを実施し、自己水源の確保に努めます。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から水源の劣化状況をより正確に把握するため、各水源の稼働状況を一定化した上で、毎月取水能力を測定記録し、経年的なデータを収集に努めるようにしました。 ・平成25年度から水源の水質状況の把握するため、検査頻度を充実させ、安定した取水量の確保とともに水質の確保に努めました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	1,184,493	1,169,891	1,213,254	1,166,157	1,144,476	
財源計	1,177,437	1,163,465	1,206,135	1,159,038	1,139,436	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,177,437	1,163,465	1,206,135	1,159,038	1,139,436
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	7,056 (1.12)	6,426 (1.02)	7,119 (1.13)	7,119 (1.13)	5,040 (0.80)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	県水受水量	見込	14,500.00	14,500.00	14,400.00	14,600.00
			実績	14,520.00	14,430.00	14,278.00	
	指標名 (単位)	受水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	1,088,865	1,074,894	1,094,710	
			活動にかかるコスト(千円)	74.99	74.49	76.67	
活動2	活動名 (活動内容)	自己水源取水量	見込	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
			実績	6,163.00	6,185.00	6,101.00	
	指標名 (単位)	取水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	11,939	12,968	15,518	
			活動にかかるコスト(千円)	1.94	2.10	2.54	
活動3	活動名 (活動内容)	水源及び取水・受水施設の工事	見込	9.00	10.00	4.00	2.00
			実績	6.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	件数(個所)	活動の総事業費(千円)	83,689	82,029	55,929	
			活動にかかるコスト(千円)	13,948.17	20,507.25	13,982.25	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	年間取水受水量(千m3)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	20,694.00	20,630.00	20,390.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	年間取水受水量に占める自己水率30%以上(%)		目標	30.00	30.00	30.00	30.00
			実績	29.80	30.00	29.90	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 自己水源取水設備の故障等により、一時的に自己水取水能力が低下したため自己水率は29.9%とわずかに30%を下回ってしまったが、ほぼ計画通りの自己水及び県水を受水することができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度には電気料金単価の上昇により、自己水源取水に係る電気代が増加し、自己水源からの取水にかかるコストは増加しました。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 水需要量の減少に伴い、自己水取水量及び県水受水量ともに減少しました。 取水設備について日常管理における設備故障を未然防止に努めたが、予期せぬ不具合の発生により一時的に取水能力が低下したため、水道水に占める自己水率30%を達成することができませんでした。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<ul style="list-style-type: none"> 県水受水については、自己水源を最大限取水し、その不足分を県水で補うものとする事で、県水受水にかかる費用の縮減に努めます。 自己水源については、安全で安定した取水量を確保するため、水質及び水量を適正に観測し、適切な維持管理を実施するとともに計画的な修繕、改修を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 自己水源取水量の安定確保と県水受水量の適正管理により、需要量に見合う水源の確保を図っていきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	623	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	香村正志
事務事業名	浄水及び配水事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		第5次拡張事業
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和34年度	経過	56年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)が			~になる	いつでも安全で安心な水道水を利用できる
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 自己水源から取水した井戸水を浄水場内の設備を使って浄水処理し、水道法に適合した水道水を作ります。 県水及び自己水源から浄水処理して作った水道水を配水池を経由して、配水ポンプにより市内各所へ給水します。 水道水の安定供給を実現するため、計画的に設備の更新やオーバーホールを実施するとともに、故障時には速やかな復旧に努め、水道水の安定供給を目指します。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の各設備の磨耗劣化状況を考慮し、整備の実施にあたっては、安全性を確保しつつ、より効率的かつ効果的な実施に努めました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	142,416	117,873	97,530	84,047	101,564	
財源計	131,328	111,321	90,726	77,243	97,154	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	131,328	111,321	90,726	77,243	97,154
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	11,088 (1.76)	6,552 (1.04)	6,804 (1.08)	6,804 (1.08)	4,410 (0.70)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	浄水及び配水施設工事	見込	3.00	4.00	1.00	3.00
			実績	3.00	4.00	1.00	
	指標名 (単位)	工事件数(件)	活動の総事業費(千円)	61,043	44,363	12,879	
			活動にかかるコスト(千円)	20,347.67	11,090.75	12,879.00	
活動2	活動名 (活動内容)	浄水及び配水管理	見込	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
			実績	20,645.00	20,518.00	20,383.00	
	指標名 (単位)	年間配水量(千m3)	活動の総事業費(千円)	67,504	71,494	71,168	
			活動にかかるコスト(千円)	3.27	3.48	3.49	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	県水受水不能事故の発生件数(件)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	自己水浄化不能事故の発生件数(件)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の設備の日常点検を通じて、故障の未然防止に努めることができました。 水道水の利用拡大を目的として、水道水のおいしさPRイベントを開催しました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度には実施工事件数が減少したため、工事にかかる活動コストは減少しました。 年間配水量が減少傾向にあり、配水にかかる単位コストは微増しました。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に予定していた工事を実施することができ、施設の安定稼働という目標を達成することができました。 平成26年度の年間配水目標量は上回ることはできたものの、年間配水量は減少傾向となっています。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> 年間配水量が減少傾向であり水道料金収入の減少が考えられることから、施設整備においては、地震防災施設整備事業と整合を図り計画的な設備更新による工事コストの縮減を実施していきます。また、水道水のおいしさをPRし、水道水の利用拡大に努めてまいります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設整備を実施することで、給水能力を確保し水道水の安定供給を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	624	課	浄水管理事務所	係	施設係	起案者	中村政則
						決裁者	香村正志
事務事業名					施設保守管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 2 良質な水の供給			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和61年度	経過	29年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民(給水対象者)			~になる	良質な水の供給を受ける
事務事業の内容	・市民が良質な水の供給を受けることができるように浄・配水場施設の機器保守点検、施設清掃等管理を行います。					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ S 6 1 北部、H 0 2 南部汚泥処理開始 ・ H 0 1 計装設備点検開始 ・ H 1 1 南部、H 1 2 中部、H 1 3 北部緊急遮断弁点検開始(追加) ・ H 2 1 発電機点検開始 ・ H 2 2 水質計器点検開始 ・ H 2 3 中部 3号配水池供用開始 ・ H 2 5 北部 新1号配水池供用開始 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	23,772	22,921	32,059	23,546	35,660	
財源計	17,850	16,999	27,712	19,199	31,313	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	17,850	16,999	27,712	19,199	31,313
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	5,922 (0.94)	5,922 (0.94)	4,347 (0.69)	4,347 (0.69)	4,347 (0.69)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	設備機器保守管理委託	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00	10.00	
	指標名 (単位)	委託事業(件)	活動の総事業費(千円)	12,983	13,047	15,548	
			活動にかかるコスト(千円)	1,298.30	1,304.70	1,554.80	
活動2	活動名 (活動内容)	施設管理委託	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00	10.00	
	指標名 (単位)	委託業務(件)	活動の総事業費(千円)	7,903	7,302	5,662	
			活動にかかるコスト(千円)	790.30	730.20	566.20	
活動3	活動名 (活動内容)	汚泥処理委託	見込	140.00	95.00	110.00	140.00
			実績	95.00	110.00	146.00	
	指標名 (単位)	処分量(m3)	活動の総事業費(千円)	2,020	2,100	2,210	
			活動にかかるコスト(千円)	21.26	19.09	15.14	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	施設設備機能不全数(個)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成
成果2	業務委託件数(件)		目標	20.00	20.00	23.00	20.00
			実績	20.00	20.00	23.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	保守管理の結果から、清掃や修繕など設備保全を展開することができ、設備寿命の延命につながることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・設備機器保守管理業務については、多数の設備機器が老朽化してきているため点検項目など増加しています。それに係るコスト上昇が発生しています。
成果		・成果1 設備点検において、機能不全になる前の段階で支障となる箇所の予防保全を行うことができ、目標達成ができました。 ・成果2 設備機器保守管理業務及び施設管理業務は、予定どおりの件数を実施しました。

7 所属長の改善案

		コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
		・浄・配水場の安全性を維持するため、施設等の点検を効果的かつタイムリーに実施するよう努めます。 ・設備機器の保守管理については、定期点検の結果を受けて予防保全に努めます。ただし、保守管理費と更新費用を比較しつつ適正な更新時期を見極め、更新計画に反映して行きます。

8 方向性

		必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続		・浄・配水場施設及び設備の点検実施を継続し、安全性を確保します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	625	課	浄水管理事務所	係	施設係	起案者	中村政則
						決裁者	香村正志
事務事業名					施設運転管理事務	事業種別	定型事務

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)		
	3 水循環			予算科目(款・項・目)		
	1 上水給水			総合計画以外の計画		
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策		
	2 良質な水の供給			性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和34年度	経過	56年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				~になる	
事務事業の内容	・浄・配水場施設の運転管理、県水受水量の調整、水道用薬品の管理注文及び電力・燃料の管理記録を行います。					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・S63 中部浄水場を無人化し運転監視業務を北部浄水場に一本化 ・H05 施設運転業務一部委託開始(夜間) ・H09 施設運転業務一部委託拡大(夜間半分) ・H19 施設運転業務一部委託拡大(土日祝祭日昼間半分及び夜間半分) ・H20 施設運転業務一部委託拡大(土日祝祭日昼間全部及び夜間半分) 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	57,743	57,617	60,495	58,291	60,735	
財源計	26,243	26,117	28,995	26,791	29,235	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	26,243	26,117	28,995	26,791	29,235
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	31,500 (5.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	電力、燃料管理記録	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	管理業務(一式)	活動の総事業費(千円)	4,599	4,599	4,599	
			活動にかかるコスト(千円)	4,599.00	4,599.00	4,599.00	
活動2	活動名 (活動内容)	浄水施設薬品の管理注文	見込	55.00	53.00	53.00	53.00
			実績	53.00	49.00	51.00	
	指標名 (単位)	注文回数(回)	活動の総事業費(千円)	9,296	9,170	9,092	
			活動にかかるコスト(千円)	175.40	187.14	178.27	
活動3	活動名 (活動内容)	浄配水場施設の運転管理、受配水量の調整及び記録	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	管理業務(一式)	活動の総事業費(千円)	43,848	43,848	44,600	
			活動にかかるコスト(千円)	43,848.00	43,848.00	44,600.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水施設薬品の管理注文については、H25年度の増加要因が取り除かれたため、コストが低下しました。 ・浄配水場施設の運転管理、受配水量の調整及び記録については、運転管理業務委託分の請負が複数年契約となっておりコストは現状維持となっています。
成果	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・浄配水場の安全運転を継続するため、運転マニュアルを随時見直ししていきます。また、災害に備えた具体的な運転訓練を実施して行きます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・浄・配水場の運転管理業務の再任用及び業務委託を導入しており、よりいっそう業務の効率化を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	626	課	浄水管理事務所	係	管理係	起案者	小林律夫
						決裁者	香村正志
事務事業名	水質検査等事務				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 2 良質な水の供給			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法施行規則第3条・10条・15条第1項第1号～4号				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有	市民から水道水の安全性についての質問がある。				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体			
実施期間	開始	昭和34年度	経過	56年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				～になる	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道法に作成が義務付けられた水質検査計画を作成し、この計画に従って水源及び給水栓水の水質検査を行います。 検査項目のうち自己検査できない項目については、その検査項目を外部分析機関に委託しますが、それ以外は直営にて検査を実施します。 市民の方から寄せられる水道水質に関する相談には、必要に応じて採水し、水質検査を実施し、その結果を相談者に提供します。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 検査機器類の日常点検を実施し、不具合箇所の早期発見に努めました。 検査業務態勢を見直し、作業の効率性向上に努めました。 水質検査技術の精度向上を目的として、スキルアップ研修を実施しました。 水道水の飲みくらべイベントを開催し、水道水と市販ミネラルウォーターの飲みくらべを通じて、水道水のおいしさをPRしました。 水質検査精度の向上を目的とした愛知県主催による精度管理研修会に参加しました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	21,845	10,080	25,798	21,863	28,210	
財源計	10,505	0	16,978	13,043	14,350	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	10,505	0	16,978	13,043	14,350
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	11,340 (1.80)	10,080 (1.60)	8,820 (1.40)	8,820 (1.40)	13,860 (2.20)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水質に関する検査業務(水源、給水栓水の検査)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託検査(式)	活動の総事業費(千円)	10,133	11,739	11,924	
			活動にかかるコスト(千円)	10,133.00	11,739.00	11,924.00	
活動2	活動名 (活動内容)	水質に関する検査業務(水源、給水栓水の検査)	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	自己検査(式)	活動の総事業費(千円)	9,387	8,757	7,560	
			活動にかかるコスト(千円)	9,387.00	8,757.00	7,560.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		・認可変更手続きに伴い、業者委託による水質検査業務の増加により、契約額が増額したため単価コストが上がりました。
成果		

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	・水質検査に係る精度向上に取り組めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・常に衛生的で安全な水道水の供給をして、利用者に安心して飲んでいただくために、水道法に定められた水質検査を水質検査計画に基づき実施していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	627	課	水道工務課	係	給水係	起案者	山村篤
						決裁者	香村正志
事務事業名	給水装置設置等申請審査事業				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)			
	3 水循環		予算科目(款・項・目)			
	1 上水給水		総合計画以外の計画			
	1 水の安定供給		関連する総合計画の施策			
	2 良質な水の供給		性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	安城市水道事業給水条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が			~になる		
事務事業の内容	新たに水道を開栓し、使用しようとする者から提出された給水装置新設等申込書を速やかに審査・承認するとともに配水管布設工事を発注し、早期に水道水を給水します。					
改善・対策の履歴	平成25年 給水基準を見直し、ウェブサイト上で公開した。 平成26年 再任用職員を1名配置し、現地立会検査を主に担当させることで、事務処理の能率向上を図った。 工事完了時の検査報告書様式を見直し、事務の簡略化を行った。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	101,037	93,050	121,500	31,815	25,830
財源計	75,837	64,700	90,000	0	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	75,837	64,700	90,000	0
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	25,200 (4.00)	28,350 (4.50)	31,500 (5.00)	31,815 (5.05)	25,830 (4.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	給水装置新設等申込書の審査業務	見込	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			実績	1,610.00	1,900.00	1,800.00	
	指標名 (単位)	(申請件数)(件)	活動の総事業費(千円)	15,750	18,270	24,570	
			活動にかかるコスト(千円)	9.78	9.62	13.65	
活動2	活動名 (活動内容)	給水申込みに係る配水管布設業務	見込	60.00	60.00	60.00	50.00
			実績	60.00	59.00	36.00	
	指標名 (単位)	(布設件数)(件)	活動の総事業費(千円)	84,027	74,150	56,300	
			活動にかかるコスト(千円)	1,400.45	1,256.78	1,563.89	
活動3	活動名 (活動内容)	水道配水管データ入力業務	見込	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
			実績	2,630.00	1,600.00	1,900.00	
	指標名 (単位)	入力件数(件)	活動の総事業費(千円)	1,260	630	4,445	
			活動にかかるコスト(千円)	0.48	0.39	2.34	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		再任用職員の増加により、活動のコストが増加しました。活動の事業費に反映されない時間外勤務が削減できました。配水管延長に係るコストが年々上昇しているため、布設1件当たりのコストが高価になりました。また、申請者による配水管布設工事が可能となったため、件数が減少しました。配水管データ入力について、過年度分の未入力台帳の入力について業者委託により処理したため、コストが上昇しました。
成果		

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の給水相談、申請審査の水準を守りつつ、人員配置の見直しを行います。 ・申請者による配水管布設工事についても、安心、安全な水道水の提供のため必要な施工管理を実施します。 ・配水管のデータ等の入力について、業者委託に頼らずに行えるように工夫します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<ul style="list-style-type: none"> ・開発業者や指定工事業者が事前の調査時に早期に申込するように依頼します。 ・申し込み前の調査および事前協議の機会を活用し、申請受付後に書類の訂正、追加などが無いようにします。 ・配水管布設工事完了後の配水管データをすみやかに提出させます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	628	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	香村正志
事務事業名					事業種別	施設整備	
応急給水対策事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 2 災害対策 2 応急給水の充実			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画		安城市水道事業地震防災施設緊急整備計		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	災害救助法第23条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成16年度	経過	11年目	終了	平成26年度	期間	11年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	各避難所の被災者が			~になる	飲料水の個別確保が不要になる。		
事務事業の内容	被災直後の運搬給水の拠点となる施設で、市民による運搬距離を1km以内として配備します。設置箇所は、避難所13箇所、浄配水場3箇所、隣接市緊急連絡管6箇所の計22箇所を第一次給水拠点とし(総合計画)さらに、避難所2箇所整備します。							
改善・対策の履歴	平成26年度に北部浄水場内に応急給水拠点を整備しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	0	4,333	61,414	64,447	0	
財源計	0	4,207	59,524	61,171	0	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	4,207	59,524	61,171	0
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	0 (0.00)	126 (0.02)	1,890 (0.30)	3,276 (0.52)	0 (0.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	応急給水拠点整備	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	応急給水拠点数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	0	0	64,447	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	64,447.00	
活動2	活動名 (活動内容)	応急給水拠点整備実施設計業務	見込	0.00	1.00	0.00	0.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	(式)	活動の総事業費 (千円)	0	4,334	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	4,334.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	応急給水拠点整備率(事務事業)(%)			目標	95.80	95.80	100.00	0.00
				実績	95.80	95.80	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	安祥公民館(11月11日)において、水道職員、公民館職員にて、応急給水訓練を実施し、応急給水に対する方法を再確認し、意識の向上を図ることが出来ました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成26年度は、北部浄水場に応急給水施設を整備しました。
成果	施設については、応急給水施設の訓練以外で使用することはありませんでした。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成26年度、北部浄水場に応急給水施設の整備を完了しました。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
休止・廃止・終了	平成26年度で、全ての整備を完了し、事業が終了しました。

事務事業調書

平成27年度

事業No	629	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	香村正志
事務事業名		区画整理区域内配水管布設事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法第1条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和63年度	経過	27年目	終了	平成38年度	期間	39年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	区画整理区域内の配水管が			~になる	区画整理事業に併せて整備される。		
事務事業の内容	区画整理事業との同調施工により、生活に欠かせない水道施設を整備し、安全安心・快適な住環境を提供します。なお、配水管には、耐震管(本管・取出し管)を採用し、安全な住環境の街づくりに心掛けます。							
改善・対策の履歴	施工箇所をまとめ、さらに、同調施工できるように工事発注を行い事務の効率化と経費の削減を図るため、事業者と連絡を密に事務を進めてまいります。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	50,167	59,170	126,169	56,509	68,744	
財源計	48,403	57,280	121,759	53,611	63,074	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	48,403	57,280	121,759	53,611	63,074
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,764 (0.28)	1,890 (0.30)	4,410 (0.70)	2,898 (0.46)	5,670 (0.90)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	区画整理・3地区	見込	4,531.00	2,853.00	4,235.00	2,925.00
			実績	3,227.00	2,093.00	2,127.00	
	指標名 (単位)	配水管整備工事(m)	活動の総事業費(千円)	50,167	59,170	56,509	
			活動にかかるコスト(千円)	15.55	28.27	26.57	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	区画整理区域内配水管整備率(%) 桜井地区(%)		目標	64.10	66.00	69.80	72.00
			実績	63.90	66.10	69.60	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
成果2	区画整理区域内配水管整備率(%) 南明治第一地区・第二地区(%)		目標	18.40	22.10	32.80	39.00
			実績	9.20	20.40	26.30	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	水道配水管を耐震管にすることにより、区画整理区域内の地震時における安全性が高まりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	道路築造工事と同調施工すること及び区画整理地区内の施工箇所をまとめて発注することができコストを削減できました。	
成果	工事発注については、区画整理事業者と協議、打合せを重ね事業者の発注に遅れることの無いよう設計、発注ができました。しかし、桜井区画整理及び南明治区画整理の道路築造工事が繰越となったため、やむを得ず配水管布設も合せ繰越となりました。これに伴い、成果指標は「未達成」となりました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
利用者に不便を与えずさらに事務の効率化と経費削減を図るため、一層綿密に事業者と協議を重ね、工事箇所の同時発注や他事業との同調施工を実施します。特に、南明治第二区画整理は、水道工事が最終年になるので、未施工の場所が残らないよう工事に万全を期します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	区画整理事業の進捗に併せて配水管を布設し、利用者の利便性を図るための事業であり、継続して実施してまいります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	630	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	香村正志
事務事業名					事業種別	施設整備	
地震防災施設緊急整備事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)				
	3 水循環			予算科目(款・項・目)				
	1 上水給水			総合計画以外の計画		安城市水道事業地震防災施設緊急整備		
	2 災害対策			関連する総合計画の施策				
	1 被害発生抑制			性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	大規模地震対策特別措置法・第7条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	24年6月 災害発生時の水道施設復旧体制について、9月 上下水道の耐震化について、25年3月 上水						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成16年度	経過	11年目	終了	平成35年度	期間	20年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	災害時に安定した水の供給が受けられる。		
事務事業の内容	平成14年4月に安城市が「地震防災対策強化地域」に指定されたことを受け、地震対策に重点を置いた、より災害に強く、信頼性の高い水道施設の整備に努め、その整備内容は、水道施設を5つの体系(1 基幹施設の耐震化、2 管路の耐震化、3 バックアップ対策、4 復旧対策、5 その他(施設の耐震化による設備の維持補修))に分類し、費用対効果の高い事業から実施します。							
改善・対策の履歴	基幹施設の耐震化の推進により、施設の更新及び集約化(統廃合)が進んだため、平成27年度より、総施設数の変更を行い、耐震化率の適正化を行います。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	450,845	559,972	343,489	277,139	371,297	
財源計	433,709	543,151	331,519	264,413	359,327	
財源の内訳	国庫支出金	17,772	0	0	29,000	14,820
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	415,937	543,151	331,519	235,413	344,507
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	17,136 (2.72)	16,821 (2.67)	11,970 (1.90)	12,726 (2.02)	11,970 (1.90)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	基幹施設の耐震化	見込	1.00	1.00	0.00	0.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	基幹施設の耐震化数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	242,676	383,886	0	
			活動にかかるコスト (千円)	242,676.00	383,886.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	水道施設耐震化検討その他業務委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	(式)	活動の総事業費 (千円)	1,541	53,210	25,083	
			活動にかかるコスト (千円)	1,541.00	53,210.00	25,083.00	
活動3	活動名 (活動内容)	重要幹線管路の布設替(耐震化)	見込	1,040.00	293.00	600.00	687.00
			実績	1,059.00	295.00	684.00	
	指標名 (単位)	重要幹線管路の布設替延長(m)	活動の総事業費 (千円)	101,597	18,909	217,434	
			活動にかかるコスト (千円)	95.94	64.19	317.89	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	浄・配水場施設における耐震化された施設の能力(%)		目標	61.90	61.90	67.20	64.10
			実績	61.90	61.90	64.10	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	重要幹線管路の布設替率(%)		目標	13.50	14.90	17.90	21.80
			実績	13.50	14.90	18.30	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	平成26年度から新たに国庫補助金の交付を受け、北部浄水場から桜井に向けての重要管路の整備に入りました。主要地方道豊田安城線を主な工事現場としましたが、交通量が多い路線にも関わらず良好な施工が実施できました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	重要幹線管路は、Φ600mmの整備となり、他年度と比べるとメーターあたりの活動コストが上昇しました。基幹施設の耐震化は、建設工事は無く、着水井及び混和池更新の実施設設計委託を行いました。	
成果	浄・配水場の施設能力は、建設工事が無かったため、向上しませんでした。なお、昨年度から今年度の実績値が変更されたのは、平成26年度に水道事業の認可変更を実施し、それに伴い施設能力が変更されたのが要因となっています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
重要幹線管路の布設替については、国庫補助の要件に適合する範囲で、管の老朽度や漏水事故などを考慮に入れ、施工年度の適正化を図って行きます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	水道事業では、安全、強靱、持続が求められており、地震対策を重点に置いた災害に強い水道施設や、市民の生命や生活に欠かせない飲料水の確保を目指し、事業は継続して実施してまいります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	631	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	香村正志
事務事業名					事業種別	施設整備	
水量不足地域配水管布設事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)				
	3 水循環			予算科目(款・項・目)				
	1 上水給水			総合計画以外の計画				
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策				
	3 計画的な施設の整備・更新			性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法第5条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成04年度	経過	23年目	終了	平成30年度	期間	27年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水圧・水量の不足する地域が			~になる	解消され、水の安定供給が可能になる。		
事務事業の内容	水量不足地域の解消を図るため、配水管の口径の増径やループ化により水の安定供給に努めます。							
改善・対策の履歴	今後とも市全体の管網や将来を見据えての事業を実施する。 平成26年度より水圧不足地域を水量不足地域とし、実質行っている水量不足箇所の解消業務に沿った事業名に変更する。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	0	2,054	20,630	0	21,260	
財源計	0	1,991	20,000	0	20,000	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,991	20,000	0	20,000
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	0 (0.00)	63 (0.01)	630 (0.10)	0 (0.00)	1,260 (0.20)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水圧不足地域配水管布設	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	水圧不足地域配水管布設 箇所数(箇所)	活動の総事業費(千円)	0	1,991	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	1,991.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	水圧・水量不足に関する要望箇所の解消(箇所)		目標	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
成果2			目標				
			実績				
		目標達成年度	目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>これまでの対応によって、水量不足地域は解消し、水量を安定供給することができました。しかし、開発行為等によって、新たに水量不足地域が発生する恐れもあるため、今後も注意していきます。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<p>これまでの対応により、常時、水量の安定供給ができたことにより、平成26年度については、新たに水量不足が発生する地域がなく、本事業費の支出をすることなく終了しました。</p>	
成果	<p>老朽管の布設替工事及び下水道布設に支障となる水道管の布設替工事に併せ、管網補強に取り組み、水量不足地域の発生を未然に防止することができました。</p>	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>水量不足の解消方法については、市全体の管網や将来を見据えて決定していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>広域において水圧・水量不足が予想される場合は、積極的な改善を図ります。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	632	課	水道工務課	係	工務係	起案者	若林康成
						決裁者	香村正志
事務事業名		第5次拡張事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)				
				予算科目(款・項・目)				
				総合計画以外の計画		第5次拡張事業計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	水道法第10条(事業の変更要件)						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	平成10年6月議会・安城市水道事業第5次拡張事業の考え方について						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成10年度	経過	17年目	終了	平成26年度	期間	17年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	水需要の増加や渇水時にも水が安定供給され、生活が豊かになる。		
事務事業の内容	給水人口等の増加に伴い、平成10年度に平成22年度を目標とした第5次拡張計画の事業認可を取得しました。(計画給水人口178,100人、1日最大給水量90,800m ³)しかし、想定以上に人口が増加しているため、平成19年度に計画給水人口191,400人、目標年度を平成26年度まで延伸する届出を行っています。							
改善・対策の履歴	平成19年度、給水人口の急増により、厚生労働省に給水人口の変更届を提出し、併せて第5次拡張計画の目標年次を平成26年度としました。 平成23年度で、施設の整備は終了しています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	0	0	0	0	0
財源計	0	0	0	0	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	第5次拡張事業施設工事	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	工事施設数(箇所)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	第5次拡張進捗率(%)		目標	100.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	平成23年度で施設整備は終了しています。
----	----------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	平成23年度で施設整備は終了しています。	
成果	平成23年度で施設整備は終了しています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成23年度で、施設の整備は終了しました。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性		
<table border="1"> <tr> <td>休止・廃止・終了</td> <td>平成26年度で終了します。</td> </tr> </table>	休止・廃止・終了	平成26年度で終了します。
休止・廃止・終了	平成26年度で終了します。	

事務事業調書

平成27年度

事業No	633	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	香村正志
事務事業名					他事業に関連する配水管布設替事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 3 計画的な施設の整備・更新			予算科目(会計)		
				予算科目(款・項・目)		
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	水道法 第5条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成18年度	経過	9年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域住民が		~になる	道路工事による通行制限を受けにくくなります	
事務事業の内容	道路整備工事および下水道工事等の他事業により支障となる既設配水管の布設替えを行います。他事業の工事と同調施工して無駄な掘り返しを無くすことでコストの縮減を図り、また、道路工事における通行規制期間を減らすことで地域住民の不便を極力少なくします。					
改善・対策の履歴	【H18年度】他事業の施工区域外でも、近接した箇所到老朽化した水道道配水管があれば、布設替えを行うことにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	268,397	242,710	446,395	246,414	255,058	
財源計	249,056	225,196	424,849	226,884	238,048	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	249,056	225,196	424,849	226,884	238,048
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	19,341 (3.07)	17,514 (2.78)	21,546 (3.42)	19,530 (3.10)	17,010 (2.70)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	他事業関連水道管布設替	見込	12.00	11.00	11.00	10.00
			実績	14.00	18.00	11.00	
	指標名 (単位)	布設替え(件)	活動の総事業費 (千円)	268,586	242,710	246,414	
			活動にかかるコスト (千円)	19,184.71	13,483.89	22,401.27	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	整備率=工事整備件数÷工事発注件数(率100%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>道路および下水道等の他事業と同調して配水管布設替工事を行うことにより、コストの削減および掘返しを無くすことで地域住民の不便を少なくすることができました。また配水管の布設替にあわせて各家庭に引き込まれている給水管についても更新したため、経年劣化した金具やパッキンからの漏水が無くなりました。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	他事業の工事内容および規模等の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。
成果	他事業から支障移転依頼のあった配水管布設替工事は、予定通り完了することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>下水道事業や土木事業などの他の事業から水道施設の支障移転依頼があった場合は、近接した場所の老朽管もあわせて布設替を行います。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>下水道事業や土木事業等から水道施設の支障移転依頼があった場合は上水道配水管の布設替は必要です。また、他事業の工事と同調して経年劣化した配水管を布設替を行うことにより工事コストが縮減できますので、他事業にあわせた計画的な水道施設の更新に努めます。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	634	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	香村正志
事務事業名					配水管維持管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり		予算科目(会計)			
	3 水循環		予算科目(款・項・目)			
	1 上水給水		総合計画以外の計画			
	1 水の安定供給		関連する総合計画の施策			
	2 良質な水の供給		性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	水道法 第5条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和30年度	経過	60年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	上水道利用者が		~になる	安定した水の供給を受けられるようになります	
事務事業の内容	上水道配水管の維持管理を行います。市民からの通報を受けた場合や巡視点検により漏水を発見した場合は、現地に急行して現業職員により修繕工事を行います。迅速な対応により水資源の有効利用および安定供給を図ります。					
改善・対策の履歴	【H18年度】市役所閉庁日の水道に関する連絡先を市役所当直から市内の水道業者に委託することにより、漏水事故等の対応を迅速にできるようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	47,984	44,217	53,443	40,308	60,654	
財源計	10,814	13,347	22,573	9,438	22,854	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	10,814	13,347	22,573	9,438	22,854
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	7,882	8,151	10,164	8,520	10,090	
職員人件費 (従事職員数)	37,170 (5.90)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	30,870 (4.90)	37,800 (6.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水道施設点検・調査・立会	見込	1,020.00	1,202.00	1,374.00	1,130.00
			実績	1,202.00	1,374.00	1,130.00	
	指標名 (単位)	調査等件数(件)	活動の総事業費(千円)	17,016	13,985	13,230	
			活動にかかるコスト(千円)	14.16	10.18	11.71	
活動2	活動名 (活動内容)	漏水等の修繕	見込	1,548.00	1,544.00	1,437.00	1,435.00
			実績	1,544.00	1,437.00	1,435.00	
	指標名 (単位)	修繕等件数(件)	活動の総事業費(千円)	30,968	30,232	17,640	
			活動にかかるコスト(千円)	20.06	21.04	12.29	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	有効水率(%) = 漏水等損失した水量を除き有効に利用した配水量 ÷ 年間総配水量(%)		目標	97.55	97.45	97.97	96.92
			実績	97.45	97.97	96.92	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
成果2			目標				
			実績				
		目標達成年度	目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	水道施設の点検および漏水修理を随時行うことにより、漏水修理時間と断水時間を短縮することができ、上水道利用者等の不便が軽減されました。また、現業職員の迅速な対応により漏水に伴う道路上での通行車両等への巻き込み事故を0件に抑えることができました。さらに、無効水量(配水量-有効水量)削減により健全な公営企業の運営を行うことができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	活動1 点検、調査および立会い件数の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。 活動2 漏水事故等の規模、内容および件数の違いにより、前年度の活動コストと差異が生じました。	
成果	有効水率の目標は達成できませんでしたが、点検、調査等により比較的少量の漏水を早期発見し修理したこと、および漏水事故等に迅速に対応したことで水資源の損失を最小限に抑えることができました。その結果、広範囲の断水および長時間の断水が無く、安心安全な水を安定的に供給することができました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
老朽化した配水管路等は今後さらに増えることが予測されます。今後も、現業職員による定期的な点検を継続して実施する必要があります。また、老朽施設の更新を推進するとともに、漏水等が多発する配水管路は、優先して布設替えすることを検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民ニーズの多様化により水道水は一時的にも断水できない日常生活において必要不可欠なものとなっています。特に、水を必要とする店舗および工場等においては、漏水事故により多額の損害を与える危険性も否定できません。そうした中で、現業職員による適切な維持管理および迅速な対応を行うことで、水資源の有効利用を図るとともに安心安全な水を安定的に供給することが可能です。

事務事業調書

平成27年度

事業No	635	課	水道工務課	係	維持係	起案者	伊藤洋一
						決裁者	香村正志
事務事業名					老朽管布設替事業	事業種別	施設整備

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)				
	3 水循環			予算科目(款・項・目)				
	1 上水給水			総合計画以外の計画				
	1 水の安定供給			関連する総合計画の施策				
	3 計画的な施設の整備・更新			性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	有	水道法 第5条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成19年度	経過	8年目	終了	平成33年度	期間	15年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	水道利用者が			~になる	水道管の破断による断水被害を受けにくくなります		
事務事業の内容	平成18年度に策定した「老朽管布設替計画」に基づき、平成33年度までに老朽化した塩化ビニール製配水管φ75～150mmの約10.3kmを耐震性の強い高密度ポリエチレン製配水管に布設替えします。震災時の断水被害を軽減するとともに上水道配水管の劣化による漏水事故を減らし、水資源の有効利用および水道水の安定供給を図ります。							
改善・対策の履歴	【H24年度】漏水事故が多く、水道施設が劣化している配水管路線を優先して布設替するようになりました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	119,708	147,021	128,094	108,164	68,449	
財源計	110,069	135,555	120,660	98,714	63,157	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	110,069	135,555	120,660	98,714	63,157
	一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費(従事職員数)	9,639 (1.53)	11,466 (1.82)	7,434 (1.18)	9,450 (1.50)	5,292 (0.84)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	老朽管の布設替え工事	見込	2,120.00	1,860.00	1,860.00	1,010.00
			実績	3,853.00	1,966.00	1,515.00	
	指標名 (単位)	老朽管布設替え(m)	活動の総事業費 (千円)	119,708	147,021	108,164	
			活動にかかるコスト (千円)	31.07	74.78	71.40	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	布設替進捗率(%) 布設替完了延長(m)÷布設替計画延長(m)(%)		目標	33.23	36.72	38.62	39.27
			実績	34.91	36.82	38.29	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	耐震性の高い高密度ポリエチレン製配水管に布設替えしたことにより地震災害の被害を軽減できます。また、老朽管の布設替にあわせて、各家庭へ引込まれている給水管についても更新したため、経年劣化した金具やパッキン等からの漏水がなくなりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	老朽管の布設替え工事の内容および規模の違いにより前年度の活動コストと差異が生じました。
成果	高密度ポリエチレン製配水管に布設替した管路については、経年劣化による漏水事故が無くなりました。目標は達成できませんでしたが、継続的に老朽配水管の布設替を行うことにより、漏水事故等による水資源の無駄な流出が減り水道水を安定的に供給することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
上水道配水管の布設した時期が古く、口径の大きい順に布設替えを行っています。漏水等が多い配水管路線は、優先的に布設替えを行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地震災害に脆弱である老朽化した塩化ビニール管を耐震管に変えることにより災害時の被害を軽減することから、計画的な布設替を推進します。また、水道施設の経年劣化による漏水事故を無くすことで、水資源の有効活用を図り安定した公営企業の経営を行うことができます。